

西暦 2024 年 4 月～2029 年 3 月に化膿性汗腺炎で当院を受診される方へ 「新規化膿性汗腺炎患者の疫学調査」の情報公開文書

1 研究について

この研究を実施することについては、名古屋市立大学医学系研究倫理審査委員会（所在地：名古屋市瑞穂区瑞穂町字川澄 1）において、医学、歯学、薬学その他の医療又は研究に関する専門家や専門以外の方々により倫理性や科学性が十分であるかどうかの審査を受け、承認されたうえで、研究を実施する研究機関の長から研究を実施することについての許可を受けています。また委員会では、この研究が適正に実施されているか継続して審査を行います。なお、本委員会にかかわる規程等は、以下のホームページよりご確認くださいことができます。

名古屋市立大学病院臨床研究開発支援センター ホームページ “患者の皆様へ”
<http://ncu-cr.jp/patient>

2 本研究施設における研究責任者の氏名

研究機関名： 虎の門病院皮膚科
研究責任者： 部長・林 伸和

なお、この研究は、多機関共同研究であるため、以下の研究機関が参加しています。

【研究代表者】

研究機関名： 名古屋市立大学大学院医学研究科 加齢・環境皮膚科
研究代表者： 教授・森田 明理

【共同研究機関】

研究機関名 日本乾癬学会に関連する全国の化膿性汗腺炎診療を行う病院 75 施設
多数の機関であり詳細はお問い合わせによりお答えすることができます。

3 研究の目的、意義

わが国の化膿性汗腺炎患者数は以前に 3000 人ほどと推計されているものの、近年、生活の欧米化に伴い患者数は年々増加傾向にあります。そのため新規化膿性汗腺炎患者の実態把握は治療発展には不可欠なデータであり、患者さんのデータを収集し、今後の治療の発展に寄与したいと考えています。

この研究で用いる情報は、診療録から得られる以下の情報です。

病型、年齢、性別、皮疹の部位、過去の治療歴、使用薬剤、併存疾患、検査結果、その他、化膿性汗腺炎の診断および治療に関する情報などです。

これらの情報は、登録ケースカードに記載し、年間の新規患者数、性別、病型、治療内容などの傾向を明らかにし、今後の治療や患者指導に役立てることを目的としています。集計結果は、日本乾癬学会学術総会や学会誌、論文などで報告する予定です。登録ケースカードによって得られた新規化膿性汗腺炎患者の情報をもとに、医療現場の希求する、よりよい治

療薬、治療法の開発、患者に対する的確な指導が可能になります。

4 あなたがこの研究の対象者として選定された理由

以下の項目の全てが当てはまる方に、この研究に参加していただけます。

- ① 西暦 2024 年 4 月 1 日から西暦 2029 年 3 月 31 日までに各研究機関に受診し化膿性汗腺炎と診断された方

5 この研究の方法及び期間

西暦 2024 年 4 月 1 日から西暦 2029 年 3 月 31 日までに各研究機関に受診し化膿性汗腺炎と診断された方を全ての方を対象とし、その医療情報を用います。用いる医療情報は、診療録から得られる情報で、臨床写真は含みません。これらの医療情報は化膿性汗腺炎登録ケースカードに記載し、記載されたケースカードを年度毎に集計し、その集計結果を日本乾癬学会学術総会で報告します。この研究のために費用負担が発生することはありません。また、予測されるリスク・利益ともにございません。

6 あなたがこの研究に参加することによって期待される利益と予測される負担やリスク

《利益について》

あなたがこの研究に参加されますと、医学の進歩に貢献していただいたことになります。

《不利益（負担やリスク）について》

この研究のために費用負担やリスクが発生することはありません。

7 同意の撤回の自由について

この研究への参加はあなたの自由意思によるものです。この研究に同意された後であっても、参加を取りやめることができます。同意の撤回を希望する場合は、主治医にその旨を伝えてください。同意を撤回された後は、あなたの情報は取り除きます。ただし、研究の進捗状況によっては、個人情報の特定ができない状態に既に加工されていることがあり、その場合はあなたのデータを取り除くことができないことがあります。

8 研究への参加に同意しなくても、途中で同意を撤回しても、不利益な取り扱いを受けることはありません。

あなたがこの研究への参加に同意されない場合や、途中で参加をとりやめる場合でも、今後の治療等で決して不利益を受けることはありません。

9 研究計画書及び研究の方法に関する資料の入手または閲覧できる旨、その方法

研究計画書は閲覧可能ですので、ご覧になりたい方は研究責任者もしくは研究分担者にお申し出ください。また、この研究が終了して研究の結果がまとめられた後、あなたの希望があれば、この研究の結果をお知らせすることができます。

10 個人情報等の取り扱い

あなたの情報は、それらから住所、氏名等の個人を特定する情報が削られ、代わりに新しく

符号がつけられて匿名化します。なお、あなたとこの符号とを結びつける対応表は、あなたの情報を頂いた病院や研究機関で厳重に保管します。

なお、この研究では、あなたの血液や検体などの試料を使用することはありません。

1 1 情報の保管方法、廃棄方法

この研究の情報は、研究期間中、施設可能な場所に研究責任者が責任を持って保管します。保管期間は、この研究の終了について報告した日から 5 年を経過した日、またはこの研究の結果の最終の公表について報告した日から 3 年を経過した日のいずれか遅い日までです。

保管期間終了後、またはあなたが同意を撤回された場合は、お預かりした情報は、個人情報保護法に基づいた適切な方法で廃棄いたします。

1 2 あなたから頂いた情報について、将来の他の研究に用いられる可能性、又は他の研究機関に提供する可能性

この研究では、頂いた情報を将来、乾癬患者さんの疫学調査に関する研究に使用させていただくことが予想されます。その場合には、改めて医学系研究倫理審査委員会にその研究の研究計画書を提出し承認を受けます。研究に用いるデータは既に匿名化され、誰のものか判別できないように加工されているため、改めて同意を取得することはありません。

1 3 研究により得られた結果等の取り扱い

この研究が終了して研究の結果がまとめられた後、あなたの希望があれば、この研究の結果をお知らせすることができます。

1 4 研究についてのご相談、健康状態に問題があると感じられたときの医療機関の連絡先

この研究について知りたいことや、ご心配なことがありましたら、遠慮なくご相談ください。

【問い合わせ先】

研究実施機関： 虎の門病院皮膚科
連絡先： 03-3588-1111 (大代表)
(対応可能時間帯) 土日祝日を除く 8:30~17:15
対応者： 林 伸和

1 5 あなたに対する費用負担、謝礼の有無

この研究は、あなたが日常で行っている治療や検査の結果などのデータを拝見させていただく研究であるため、あなたに新たな費用の負担を求めることはありません。

この研究に参加いただくことによる謝礼はありません。

1 6 他の治療方法等について

この研究は日常の診療で行う検査等のデータを観察する研究ですので、この研究に参加しても参加しなくても行う治療は同じです。

1 8 研究実施後の医療の提供に関する対応

この研究に参加していただいた後の治療等に制限はありません。

19 研究によって生じた健康被害に対する補償の有無、その内容

この研究の参加中に、本研究に参加したことにより健康被害を受けた場合は、通常の診療と同様に適切に対処します。その際の医療費は、あなたが加入している健康保険の自己負担額についてはお支払いいただくことになります。本研究は医療情報を用いる研究であるため、この研究による健康被害はありません。臨床研究保険には加入せず、研究の実施に伴い生じた健康被害に対する医療の提供のみを行います。健康被害の発生により、損害保険による補償金が支払われることはありません。

20 この研究の資金源及び利益相反（COI(シーオーアイ)：Conflict of Interest）について

研究一般における、利益相反（COI）とは「主に経済的な利害関係によって公正かつ適正な判断が歪められてしまうこと、または、歪められているのではないかと疑われかねない事態」のことを指します。具体的には、企業等が研究に対してその資金を提供している場合や、研究に携わる研究者等との間で行われる株券を含んだ金銭の授受があるような場合です。このような経済的活動が、研究の結果を特定の企業や個人にとって有利な方向に歪曲させる可能性を判断する必要があり、そのために研究の資金源や、各研究者の利害関係を申告することが定められています。

この研究は、日本乾癬学会の資金で実施します。

なお、この研究では、特定の企業等の関与はありません。研究責任者および研究分担者等の利益相反申告が必要とされる者の利益相反（COI）について、名古屋市立大学大学院医学研究科医学研究等利益相反委員会の手続きを終了しています。

また、共同研究機関においても各機関の規程に従い、適切に対応しています。

21 研究成果の帰属について

この研究で得られるデータ又は発見に関しては、日本乾癬学会が権利保有者となります。この研究で得られるデータを対象とした解析結果に基づき、特許権等が生み出される可能性があります。ある特定の個人のデータから得られる結果に基づいて行われることはありません。したがって、このような場合でも、あなたが経済的利益を得ることはなく、あらゆる権利は、研究者もしくは研究者の所属する研究機関にあることをご了承ください。

22 一部業務の委託機関について

データマネジメントについて下記企業に委託しております。各施設で収集した情報を下記企業へ送付しますが、その際には匿名化した情報を送ります。そのため、あなたの個人情報が委託機関へ送られることはありません。

合同会社 EBC&M

施設責任者：平松 泰成

虎の門病院で本研究を実施するにあたり情報公開文書補足開示情報

研究課題名：新規化膿性汗腺炎患者の疫学調査

【表題】の下線部分を読み替える

『化膿性汗腺炎で当院を受診される方へ西暦 2024 年 4 月～2029 年 3 月に「新規化膿性汗腺炎患者の疫学調査」の情報公開文書』との記載は、

『西暦 2024 年 4 月～2025 年 3 月に化膿性汗腺炎で当院を受診された方を対象とした「新規化膿性汗腺炎患者の疫学調査」の情報公開文書』に読み替える

【2 本研究施設における研究責任者・研究機関の長の氏名】に、下線部を追加する

研究機関名 : 虎の門病院皮膚科

研究責任者 : 部長・林 伸和

研究機関の長 : 院長・門脇 孝

【4 あなたがこの研究の対象者として選定された理由】の下線部分を読み替える

「①西暦 2024 年 4 月 1 日から西暦 2029 年 3 月 31 日までに各研究機関に受診し化膿性汗腺炎と診断された方」との記載は、

「①西暦 2024 年 4 月 1 日から西暦 2025 年 3 月 31 日までに虎の門病院に受診し化膿性汗腺炎と診断された方」に読み替える

【5 この研究の方法及び期間】の下線部分を読み替える。

「西暦 2024 年 4 月 1 日から西暦 2029 年 3 月 31 日までに各研究機関に受診し化膿性汗腺炎と診断された方を全ての方を対象とし、その医療情報を用います。」との記載は、

「西暦 2024 年 4 月 1 日から西暦 2025 年 3 月 31 日までに虎の門病院に受診し化膿性汗腺炎と診断された方を全ての方を対象とし、その医療情報を用います。」に読み替える

【5 この研究の方法及び期間】に下線部分を追記する。

「研究期間は、病院長承認日～2029 年 12 月 31 日です。」

2025 年 6 月 20 日

虎の門病院

研究責任者 林伸和

No.	研究機関	所属	研究責任者
1	北海道大学	大学院医学研究院 皮膚科学教室	准教授・夏賀 健
2	札幌医科大学	医学部 皮膚科学講座	教授・宇原 久
3	医療法人社団廣仁会 札幌皮膚科クリニック		院長・安部 正敏
4	岩手医科大学付属病院	皮膚科講座	准教授・渡部 大輔
5	秋田大学	医学部 皮膚科学講座	教授・河野 通浩
6	獨協医科大学	医学部 皮膚科学講座	主任教授・井川 健
7	順天堂大学医学部附属 浦安病院	皮膚科	専任准教授・金子 高英
8	帝京大学ちば総合医療センター	皮膚科	教授・佐藤 友隆
9	NTT東日本関東病院	皮膚科	部長・出月 健夫
10	杏林大学	医学部 皮膚科学教室	講師・倉田 麻衣子
11	東京慈恵会医科大学	皮膚科学講座	教授・朝比奈 昭彦
12	東邦大学医療センター大森病院	皮膚科	講師・吉田 恵司
13	日本大学	医学部 皮膚科学分野	准教授・葉山 惟大
14	東京慈恵会医科大学附属第三病院	皮膚科	診療部長・伊藤 寿啓
15	聖路加国際病院	皮膚科	部長・新井 達
16	東京科学大学	大学院医歯学総合研究科 皮膚科学分野	教授・沖山 奈緒子
17	独立行政法人地域医療機能推進機構 東京山手	皮膚科	部長・鳥居 秀嗣
18	東海大学	医学部 専門診療学系 皮膚科学教室	教授・馬淵 智生
19	横浜国立大学附属 市民総合医療センター	皮膚科	部長・金岡 美和
20	富山大学	大学院医学薬学研究部 皮膚科学講座	教授・清水 忠道
21	金沢大学	大学院医学系研究科皮膚科学教室	助教・北野 佑
22	金沢医療センター	皮膚科	部長・稲沖 真
23	福井大学	医学部 感覚運動医学講座 皮膚科学	准教授・尾山 徳孝
24	信州大学	医学部 皮膚科学教室	教授・奥山 隆平
25	岐阜大学	大学院医学系研究科 皮膚病態学講座	教授・岩田 浩明
26	藤田医科大学	医学部 皮膚科学教室	教授・杉浦 一充
27	愛知医科大学	皮膚科学講座	教授・渡辺 大輔
28	春日井市民病院	皮膚科	主任部長・古橋 卓也
29	名古屋市立大学医学部附属東部医療センター	皮膚科	准教授・岩井 敦子
30	三重大学	医学部皮膚科学教室	教授・山中 恵一
31	滋賀医科大学	皮膚科学教室	助教・山口 明彦
32	京都府立医科大学	大学院医学研究科 皮膚科学	准教授・益田 浩司
33	京都大学	大学院医学研究科皮膚科学	講師・鬼頭 昭彦
34	大阪大学	大学院医学系研究科内科系臨床医学専攻情報統合	教授・藤本 学
35	近畿大学	医学部 皮膚科学教室	教授・大塚 篤司
36	大阪公立大学	大学院医学研究科 皮膚病態学	講師・平田 央
37	大阪医科薬科大学	皮膚科学教室	教授・森脇 真一
38	独立行政法人地域医療機能推進機構大阪病院	皮膚科	診療部長・竹原 友貴
39	奈良県立医科大学	大学院皮膚科学教室	助教・西村 友紀
40	和歌山県立医科大学	皮膚科	教授・神人 正寿
41	岡山大学	大学院医歯薬学総合研究科 皮膚科学分野	教授・森実 真
42	高知大学	医学部 皮膚科学教室	教授・中井 浩三
43	九州大学	医学部 皮膚科学教室	教授・中原 剛士
44	久留米大学	医学部 皮膚科学教室	講師・橋川 恵子
45	福岡大学	医学部 皮膚科学教室	教授・今福 信一
46	産業医科大学	医学部 皮膚科学教室	教授・澤田 雄宇
47	北九州市立八幡病院	皮膚科	副部長・古河 裕紀子
48	長崎大学	大学院医歯薬学総合研究科皮膚病態学分野	講師・小池 雄太
49	熊本大学病院	皮膚科	教授・福島 聡
50	大分大学	医学部 皮膚科学講座	教授・波多野 豊
51	琉球大学	医学部 皮膚科学教室	講師・山口 さやか
52	社会福祉法人 聖母会 聖母病院	皮膚科	部長・小林 里実
53	日本医科大学千葉北総病院	皮膚科	教授・神田 奈緒子
54	国家公務員共済組合連合会 虎の門病院	皮膚科	部長・林 伸和
55	名古屋市立大学医学部附属西部医療センター	乾癬ケアセンター	教授・西田 絵美
56	自治医科大学	皮膚科学講座	教授・小宮根 真弓
57	旭川医科大学	皮膚科学講座	准教授・岸部 麻里
58	愛媛大学	医学部 皮膚科学講座	助教・西原 克彦
59	横浜国立大学	大学院医学研究科 環境免疫病態 皮膚科学	教授・山口 由衣
60	香川大学	医学部 皮膚科	助教・山村 健太郎
61	島根大学	医学部 皮膚科学講座	教授・山崎 修
62	東北大学	大学院医学研究科 神経・感覚器病態学講座 皮膚	教授・浅野 善英
63	東京医科大学	皮膚科学分野	特任教授・大久保 ゆかり
64	浜松医科大学	皮膚科学講座	教授・本田 哲也
65	川崎医科大学総合医療センター	皮膚科	副部長・山本 剛伸
66	弘前大学	大学院医学研究科 皮膚科	教授・赤坂 英二郎
67	福島県立医科大学	皮膚科	教授・山本 俊幸
68	岡崎市民病院	皮膚科	統括部長・西原 春奈
69	東京大学	医学部 皮膚科	准教授・柴田 彩
70	慶応義塾大学	医学部 皮膚科	専任講師・足立 剛也
71	埼玉県済生会川口総合病院	皮膚科	主任部長・高山 かおる
72	東京医科歯科大学市川総合病院	皮膚科	教授・石井 健
73	帝京大学	医学部 皮膚科学講座	主任教授・多田 弥生
74	埼玉医科大学総合医療センター	皮膚科	教授・福田 知雄
75	関西医科大学付属病院	皮膚科学講座	教授・谷崎 英昭